

## 塚ノ杵池の魚類

荒尾一樹

筆者は2010年5月22日に塚ノ杵池で魚類調査を行ったので、その結果をここに報告する。

調査にはタモ網を用いた。調査時の天候は晴れ、水温は24.6℃であった。採集された外来生物の大部分は適切な処分をし、一部は10%ホルマリン水溶液で固定し、豊橋市自然史博物館魚類資料 (TMNH-F) として登録・保管した。

調査の結果、国外外来生物であるサンフィッシュ科Centrarchidaeのブルーギル*Lepomis macrochirus*とオオクチバス*Micropterus salmoides*だけが採集された。ブルーギルは体長約10～15cmの個体が多く採集された(写真1)。オオクチバスはこの池で再生産したと考えられる体長約15～20mmの群泳個体が多く採集され(写真2)、体長約30cmの大型個体も目視確認された。魚類以外ではやはり国外外来生物であるアカガエル科Ranidaeのウシガエル*Rana catesbeiana*とアメリカザリガニ科Cambaridaeのアメリカザリガニ*Procambarus clarkii*が確認され、両種は2010年10月16日にも確認された(写真3, 4)。

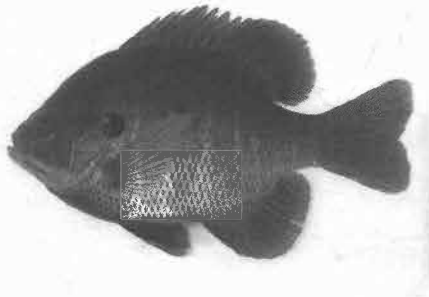


写真1 ブルーギル (TMNH-F1743)



写真2 オオクチバス (TMNH-F191)



写真3 ウシガエル



写真4 アメリカザリガニ

名古屋市は塚ノ杵池で経年的に魚類調査を行っている(表1)。コイ科Cyprinidaeのコイ *Cyprinus carpio* とフナ属 *Carassius* sp. は目視と聞取により散発的に確認されているが、ブルーギルとオオクチバスは1982年にはすでに確認され、その後も継続的に確認されている。また、1986年にはブルーギルとオオクチバスだけが確認されており、これらの国外外来種を対象としたルアー釣りが盛んであったと記されている(村上, 1986)。オオクチバスが釣れるポイントをまとめた「BASS MAP愛知」(アムソン出版編集部, 2007)にも塚ノ杵池が紹介されており、古くからオオクチバスが生息していると記されている。池には釣り禁止の看板が名古屋市により設置されているが(写真5)、現在も国外外来種を対象とした釣り人の姿がみられる。池を歩いて一周する事ができ、駐車スペースもあることも人気の理由と考えられる。ブルーギルとオオクチバスは「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法)で「特定外来生物」に指定されており、持ち帰ること(運搬)は禁止されているが、その場ですぐに放すことは規制の対象とはなっていない。健全な生態系を取り戻すには駆除が必要であるが、その後の密放流などの監視も重要である。

表1 名古屋市の調査結果

確認種	コイ	フナ属	ブルーギル	オオクチバス
名古屋市 (1982)			●	●
名古屋市 (1984)			●	
名古屋市 (1986)			●	●
名古屋市 (1988)			●	
名古屋市 (1990)		★	■	●
名古屋市 (1992)			●	●
名古屋市 (1994)			●	▲
名古屋市 (1996)	▲		●	▲
名古屋市 (1998)	▲	▲	●	▲

●: 採集確認, ▲: 目視確認, ■: 釣人の釣果確認, ★: 聞取確認



写真5 釣り禁止の看板

## 引用文献

- アムソン出版編集部 (2007) BASS MAP愛知. アムソン出版, 愛知.
- 村上哲生 (1986) 猪高緑地内の池の魚類と底棲生物. ため池の自然, (4), 7-8.
- 名古屋市 (1982) 昭和57年公害の現況. 名古屋市, 愛知.
- 名古屋市 (1984) 昭和59年公害の現況. 名古屋市, 愛知.
- 名古屋市 (1986) 昭和61年公害の現況. 名古屋市, 愛知.
- 名古屋市 (1988) 昭和63年公害の現況. 名古屋市, 愛知.
- 名古屋市 (1990) 平成2年公害の現況. 名古屋市, 愛知.
- 名古屋市 (1992) 平成4年版公害の現況 (資料編). 名古屋市, 愛知.
- 名古屋市 (1994) 平成6年版公害の現況 (資料編). 名古屋市, 愛知.
- 名古屋市 (1996) 平成8年版名古屋市環境白書 (資料編). 名古屋市, 愛知.
- 名古屋市 (1998) 平成10年版名古屋市環境白書 (資料編). 名古屋市, 愛知.